



## 同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一  
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316  
☎048-977-5441 FAX048-977-2031  
e-mail: dosokai@dokkyo-saitama.ed.jp  
URL http://www.dokkyo-saitama.ed.jp/

## 25周年記念事業、進行中!!

2005(平成17)年4月、獨協埼玉高等学校は創立25周年を迎えます!この25周年を記念する事業として、第二体育館の建設、25年誌の編集、記念式典等が計画されています。なかでも、第二体育館については、2004(平成16)年の夏から工事に着手し、2005(平成17)年3月には完成する予定です。2001(平成13)年に中学校が



開校したことにより、1500名を超える全校生徒にとっては、現在の体育館だけでは手狭となってしまう、体育の授業や部活動をより活発に行うためにも、新しい体育館の建設は待ち望まれたものでもあります。完成したあかつきには、この新しい体育館で25周年の記念式典も予定されています。先日、体育館の設計図も提示され、後援会、PTAと兼用ではありませんが、同窓会室も第二体育館の中に用意されるようです。

1980(昭和55)年4月、この埼玉県越谷市の地に男子校として獨協埼玉高等学校が開校し、309名の生徒を迎えた第1回入学式が行われました。そして、その2年後に男女共学となり、更には2001年に中学校が開校し、現在に至ります。矢島仁吉校長・中島文夫校長・四宮満校長・石井征次校長の下、獨協埼玉としての歴史を重ねてきました。25周年を一つの節目として、母校の更なる飛躍を期待し、同窓会としてもバックアップを続けていくつもりです。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## U5U5おもんみるに—風雲25年

## 紀内恒久先生(数学科)



時の流れは残酷なものだ。あの時の颯爽とした青年教師が、いまや退職まであと何年かという老(?)教師

に……。こんなにも時間は経ったのか。ふと周りを見れば、開校4ヶ月前に生まれた息子が社会人に、見たはず限り何もなかったせんげん台駅西口一帯が大きな町並みに、そしてあの一期生が40歳を迎えようとしている。それを思うと現実を受け入れざるを得ない。

そんななか、中学校の増設などで少しおもむきはちがうものの、あのときの風景が今もそのままにある。あの校舎が悠然と立っている。生徒たちは移り変わっても、教育をめぐる状況は変化しても、これだけは基本的に変わらない。そして、そのときどきの思い出や感慨をよみがえらせてくれる。そう思うと、この光景がとてつとらしい。

25年というひとくぎり年、ふらっと訪れてみてはどうだろうか。昇降口が、教室が、体育館が、きつとそのときの顔で「お帰りー」ときみたちを出迎えてくれることと思う。もちろん私たち教職員も……



▶男子校時代の体育祭

## 同窓会長 玉山栄一



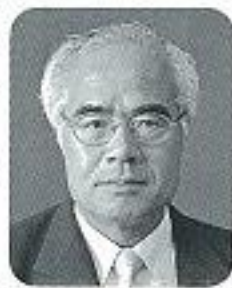
我が母校には三つの校訓が掲げられています。「開拓・創造・親愛」です。今日はこの中の「創造」を材

料に話をさせてもらいます。日本語には同じ音を持つ言葉や、漢字などで使い分けています。この「そうぞう」も二つの大きな意味を持っています。そうぞう、「創造」と「想像」です。実はこの二つの「そうぞう」力が衰えつつあることを、私は憂えています。そしてその衰えが、あらゆる事件の要因になっているような気がしてならないのです。

いつの間にか、私たちの周りには完成品ばかりが目につくようになりました。そのせいか、それがどのような過程を経て、完成したのかを考へることなく、ただものだけを手に入れているようです。平らな一枚の紙から、お城ができあがるためには「のりしろ」が必要になります。何かを組み立てるには絶対に欠かせないけれども、できあがったときには姿を消している「のりしろ」の存在を忘れてはいけません。

この「のりしろ」によって、平板に見える世の中を、奥行きのある、立体的な世界へと変貌させることができるはず。そして一人ひとりにとっても、この「のりしろ」こそがその人の「懐の深さ」といえるのでしよう。我が同窓会も、二つの「そうぞう」を駆使し、「のりしろ」の使い方を工夫しながら、皆さんにとって「そうぞう」と「のりしろ」の両面を備えた存在でありたいと考えています。皆さんの更なるご理解・ご協力をお願いいたします。

## 校長 石井征次



開校25周年を迎えようとしている今、卒業生諸兄諸姉の前で、まことに大まかで恐縮なのだが、これも獨

協らしさということでご許容願って「在りし日の獨協埼玉」を振り返ってみる。今から20年以上前には、悪戯が過ぎて、教師に殴られたり、廊下を追い回されたりした覚えのある生徒が少なからずいたはずだ。だからといって、その頃生徒であったものでさえ、獨協では厳しい躾教育がなされてきたとは思っていないだろう。宿題を忘れれば厳しく叱責されたし、試験が出来なければ赤点を付けられて、止むを得ず、死にものぐるいで勉強した覚えのある卒業生も少なくないと思う。だからといって、獨協埼玉が上昇志向に凝り固まった進学校だったなどと思う卒業生もおそらくいないだろう。

要するに半端といえれば半端、柔軟といえれば柔軟、いい加減といえればいい加減、どこか肩の力の抜けた、それでいて生徒と教師との関係が近い、そんな学校が獨協埼玉だったのではなからうかと今更ながら思う。時間をかけて熟していく。即効性ではないさか見劣りするかもしれないが、長い目で人生を見たときに、自分の中に伏流水のように流れている大切ななにかを獨協での生活の中で築き込ませていった卒業生が多いのではなからうか。

そんな「在りし日の獨協埼玉」にプライドを持つ反面、「これからの獨協埼玉」にどんな「らしさ」を付与していくべきなのか。不変と可変、その兼ね合いが問題なのであります。

## 加倉井憲一先生(理科)



獨協埼玉高等学校が始まった昭和55年から57年までの3年間の男女の髪型は男子はたのきんトリオ、女子

は松田聖子だったように記憶しています。そのころルビーの指環が大ヒット。よく歌番組で放映していました。昭和56年は、チャールズとダイアナが結婚し、ピンクレディが解散し、向田邦子の乗った飛行機が落ち、福井謙一がノーベル賞を受賞し、「北の国から」というTV史上に残る名作ドラマが放映された年でした。私が初めて学年主任をした年でした。あれから25年、そのころの高校生は今どうしているのでしょうか。40歳の不惑の年を迎えているはずですが、この不惑とは、孔子の考えに一点の惑いもなくなくなった年齢ですから、卒業生の社会での活躍も絶好調のころでしょう。でも、もう一度15歳、志学の年、を思い出して獨協埼玉高等学校においでください。

## 桑原信夫先生(社会科)

太陽の光は降り注がれて！いたるところに拡散している。しかし、枯渇することはない。なぜなら、この拡散は一つの拡散なのである。光はまっすぐに拡散して行ってしまう。なにか固体にぶつかると、遮断されれば光はその上にいわば押しつけられ、そこにじっとして、滑りもせず落ちもしない。精神の拡張と波及もこのようではなくてはならない。決して枯渇することもなく拡張し、途上どんな障害物に出合っても、これにひどく猛烈にぶつかることをせず、倒れ落ちもせず、自分を受けられるものの上にとっかかりと立ち、これを照らすべきである。(マルクス・アウレリウス)

## 手塚利幸先生(数学科)



同窓生の皆さん、お元気ですか。お久しぶりです。数学科の手塚です。私が獨協埼玉高校の教壇に立ち、はや二十数年が経ちました。今では、採用された当時に比べると、白髪も増え、だいぶ膨よかになりました。廊下ですれ違っても分らないかもしれません。

昨年から中学校スタッフの一員として学校生活を送っています。中学校では、授業内容も生徒指導も初めての事はばかりで戸惑うことが多いのですが、老体(今年45歳)に鞭打って頑張っています。再び、同窓生の皆さんに会えることを楽しみにしています。クラス会の連絡待っています。

## 富永慎先生(体育科)

お元気ですか。保体の富永です。私が獨協埼玉にお世話になったのが平成元年。あれから16年の歳月が流れ、生徒もかなり変化したなと思います。初めの頃の印象は、男子生徒が多くて、硬派な感じがあり、女子は奥ゆかしい子が多く、勉強ができた。今思うと、良き獨協時代でした。その頃、私はスポーツクラブで器械体操(女子)の指導もやっていた。高3までの選手を全日本優勝・オリンピック出場を目標に頑張らせていました。朝から晩まで運動をやらせているのが正しいのか、獨協生のように生活させた方が良いのか、正解はでないのですが、獨協で野球部のコーチをして8年、平和だなあと感じます。今の獨協生は、もっと燃えるものを見つけたい、少しかっこわるくなった!!

# 卒業生インタビュー part 6

「お笑いコンビ「インパルス」」  
14期生 板倉 俊之

小平 久しぶりですね。卒業してから、

どうしていたの？

板倉 二年ほどガソリンスタンドで働い

ていて、二十歳の時に吉本の養成所があることを知って、養成所に入りました。

小平 養成所にはどのくらい？

板倉 一年間です。

小平 そこで相方の堤下君と出会ったの？

板倉 そうです。ほとんど養成所でコンビを組みますね。

小平 コンビを組んで、どのくらいになる？

板倉 六年になります。

小平 そういえば、何年か前に蛙鳴祭の後夜祭に来たね。どうでした？

板倉 後夜祭という雰囲気もあるのですよ。みんな、テンションが高くて、やりやすかったですよ。楽しかったです。

小平 そうだ、インパルスというコンビ名の由来は？

板倉 それが結構、いい加減につけたんですよね。養成所で今日までに決めると言われて、どうしようかと二人で話をしていた、二人ともバイクが好きで、教が当時、乗っていたバイクの名前がインパルスで、それコンビ名っぽいな、というのでとりあえずそれにして…そ

のままです。

小平 「お笑い」を志したのはいつから？

板倉 小学生のころからの夢ですね。

小平 そうなんだ。六年やってきて、今のようになり張りだこになったのはいつ頃から？

板倉 去年の秋からですかねえ…

小平 きっかけはあるのかな？

板倉 「エンタの神様」という番組に毎週、出るようになってからですね。そこで毎週、ネタを披露するようになってですね。それから「バク天」も始まって…

小平 今、本当に毎日、テレビ見るものね。

板倉 ありがとうございます。

小平 こんなにテレビの仕事が入る前まではどうしていたの？

板倉 まあ、舞台でライブしたり、時には地方に、いわゆる営業に行ったりでした。

小平 そうかあ、苦勞もしていたんだね。ネタはどちらが？

板倉 基本的には僕が考えています。

小平 でもこんなに仕事が過密だとネタ合わせの時間もないんじゃない？

板倉 そうですね…テレビの場合は本当に収録前にちよこっつという感じですね。単独ライブだと、そういうわけにはいかないのです、大変で

す。ネタの数も多いですから、寝る時間削っても、合わせますね。

小平 一週間のスケジュールはどうなっているの？

板倉 えっと…ですね、月曜は「バク天」のロケして、火曜がルミネで「バク天」の収録。水曜日はCSの生放送に出るから、ラジオの収録。木曜日が「ぶらちなロンドンブーツ」の収録があって、金曜は「エンタの神様」の収録してから「@サプリ」のロケ。土曜日は「はねるのトビら」があり、日曜は「@サプリ」の収録して、ルミネの後に、「まさかのミステリー」の収録…ですね。

小平 本当に一週間、びっしりなんだね。

板倉 そんな中で、今後、広げてみたい領域なんかあるのかな？

板倉 いえいえ…当分はお笑いだけで十分です。

小平 ふうん、じゃあ今後の目標のようなものはある？

板倉 駐車場が地下に付いているマンションに住むことですかね…(笑)

小平 ずいぶん具体的だなあ…高校時代はいろいろやっていたよねえ。

板倉 そうですね…卒業が遅れたり、タバコ吸って見つかったり、駅から学校まで遠かったせいで自転車盗まざるを得なくて、捕まったり…

そういえば消火器を間違って噴射してしまった時、紀内先生黙っててくれて、ありがたうございました。要するにそんなおちゃめな生徒でした。

小平 みんなにメッセージはありますか？

板倉 みんな、それぞれがんばりましょう。僕もがんばります。

小平 忙しい中、本当にありがとうございます。

板倉 ありがとうございます。そうだと七月二十八日に二枚目のコントDVD「球根」が発売されるので、みなさん、買ってくださいな。



▲堤下敦さん(左)・板倉俊之さん(右)

# 第七回同窓会総会・懇親会開催



▲○×クイズで賞品をGet!

5月22日、中学棟小ホールにて、第七回同窓会総会が行われました。同窓会会長の挨拶の後、森脇先生を議長に選出して議事が進行されました。まず、平成15年度の事業報告及び会計報告がなされ、次に平成16年度の事業計画・予算案が上程されました。同窓会では、25周年記念事業の一つである第二体育館建設のための資金を一部負担することとしております。金額の詳細等については、次回、平成17年度の第8回同窓会総会にてご報告させて頂きたいと考えております。事業計画・予算案ともに満場一致でご承認頂きました。引き続き行われた懇親会は、酒井先

生、高田先生に司会をお願いし、終始和やかな雰囲気の中で行われました。石井校長をはじめ、20数名の先生方にご出席を賜り、退職された太田先生にもお越し頂きました。同窓生も一期生から卒業したばかりの学生の方まで、多くの方が出席なさいました。はじめに石井校長と太田先生よりご挨拶を頂戴し、新宮先生の音頭で乾杯の運びとなりました。久しぶりに会う先生方との歓談に盛り上がる同窓生の様子が見どころで見られました。その後、今年の催しとして、玉山会長の進行のもと、○×クイズが行われました。参加者は玉山会長の問題を聞いてホワイトボードに作られた大きな○マークと×マークの前に立ち、勝ち残った人が賞品をもらうという形で行いました。ワイン等の豪華商品も提供され、問題も獨協埼玉高校に関する問題などを取り上げることにより、同窓生と先生方共に楽しいひと時となりました。

約2時間にわたって行われた懇親会も終了し、第七回同窓会総会及び懇親会は終了いたしました。来年度の総会及び懇親会につきましては、25周年記念事業との関係で、流動的になることが予想されますが、ぜひ、多くの同窓生の方にお集まり頂き、旧交を温めて戴きたいと思っております。

## ■決算・予算報告

平成16年度予算(案)

収入の部		支出の部	
★22期生終身会費 (342人)	3,420,000	★会報費	1,800,000
★H15年度より繰越金	15,007,225	★通信費	150,000
★預金利息	775	★事務費	300,000
		★総会費	400,000
		★慶弔費	100,000
		★文化祭活動費	50,000
		★幹事会費	100,000
		★企画費	500,000
		★予備費	15,028,000
<b>合計</b>	<b>18,428,000</b>	<b>合計</b>	<b>18,428,000</b>

平成15年度決算書

収入の部		支出の部	
★21期生終身会費 (350人)	3,500,000	★会報費	1,610,837
★H14年度より繰越金	13,670,707	(会報・総会ハガキ発送)	
★既卒者終身会費	310,000	★通信費(後納郵便等)	20,400
★利息	401	★事務費	176,137
		(体育祭飲み物代含む)	
		★総会費	103,931
		★文化祭活動費	11,738
		★幹事会費	50,000
		★企画費(マジック代)	500,840
		★次年度繰越金	15,007,225
<b>合計</b>	<b>17,481,108</b>	<b>合計</b>	<b>17,481,108</b>

懇親会会計報告

収入の部		支出の部	
★懇親会会費	335,000	★会場費(飲食代含む)	374,347
★祝金	50,000	★雑費	10,653
<b>合計</b>	<b>385,000</b>	<b>合計</b>	<b>385,000</b>

## 高校の制服 リニューアル!

獨協埼玉中学校1期生の高校進学に合わせ、2004年度より、男女ともに高校の制服がリニューアルしました。今までの高校の制服と中学の制服のイメージとの一貫性をもたせた、新しい制服です。男子は、詰襟で、袖口の蛇腹は健在です。丸みを帯びたボタンが特色で、今までの校章バッチに変わり、襟元に金モールでDマークが刺繍され、襟が少し低くなりました。女子は、紺のブレザーに、3種類のスカート(左から…グレー無地、グレーのチェック、紺と深緑のタータンチェック)が用意され、今までのグレーのネクタイから、エンジを基調としたリボンに変わりました。中学校の制服と、今までの馴染み深い制服を受け継いだ、新しい獨協埼玉高校の制服をよろしくお願ひします。



# あの先生は今…… 太田朝博先生

今回は、創立2年目から23年間にわたり保健体育の教鞭を執り、今春ご退職された太田朝博先生に近況をお伺いすることができました。



▲太田先生(左)、  
玉山会長(右)

司会 ご退職されてから3ヶ月、近況をお聞かせ下さい。

太田 5週間かけて、家をリフォームして、やっと落ち着いたばかりだよ。あとは毎週のように温泉にいったな。伊東、熱海、草津……

司会 それはいいですね。続いて、獨協に来た経緯を教えてください。

太田 面白い縁だね。大学の同期で、同じ高校で教育実習をやった親友が獨協高校の卒業生で、獨協で働かないかと誘われたんだけど、教員になるつもりがなくなっていた。それで代わりに俺にやらないかって。神奈川県も受かってはいたんだけど、やっぱり都内がよくて獨協に決めちゃったんだ。

司会 そうだったんですか。では、埼玉に来ることになったのは?

太田 創立2年目のときだったんだけどね。獨協埼玉を立ち上げようという時に石井さん(現校長)達に誘われて、俺もその気になったんだけど、目の校長が難しくてなかなか、校長ともめてさ、辞表まで出したんだ。そしたら、石井さんや増原さん、新宮さんなんか、間に入ってってくれて埼玉に来れるようになったんだ。

司会 辞表を出すというのは、ただことではないですね。続いて、長年の教員生活での思い出を聞かせてください。

太田 思い出とか若いときはとにかく体を張ってたなあと思うね。目の時なんかは男子53人クラスで、体育の時間にその全員と相撲をとったことがあったなあ。若かったからできたけど、さすがにぶっ倒れそうになったなあ。

司会 すごいなあ！  
太田 埼玉に来てからは、共学だからさすがに女

の子とは相撲はとれなかったけどね。やっぱり林間学校や修学旅行は思い出深いなあ。二期生の林間学校で茶臼岳に登ったとき、体の大きな生徒をおぶって、足を濡らせながら降りてきたのもあったしな。

司会 あとは埼玉に来た年の体育祭の予行の時、一期生でだらしない生徒がいて、みんな見ている前でバンバンやっちゃってさ。あとで矢島校長に怒られたよ。

太田 そんなこともあったんですか？  
司会 共学になってからは女子にも差別しないでやってたなあ。遅刻すると、女子生徒でも自分から頭を出してきたりしてたね。

太田 太田先生は獨協一筋でやってこられましたか、そんな太田先生からみて、獨協生としての誇り、変わらぬところ、欲しいところ、はどこなところですか？

太田 生徒一人一人が優しいことだと思うね。人に対して思いやりがあるというのよね。そりゃ、色々悪さするやつはいるよ。ケンカなんかもするしね。でも、本質的にはみんな、思いやりを持っているよね。陰湿ないじめなんかは少ないんじゃないかな。そんなところが一番の財産だと思うよ。教員もそんな良いところを見つけてあげて欲しいな。

司会 なるほど、だからみんな良い友人を持つし、獨協が好きなんですよ。そういう雰囲気はなくさないで欲しいですよ。最後に同窓生へ一言、お願いします。

太田 同窓会で会うたびに、立派になっていて嬉しく思います。会うことをすごく楽しみにしているの、ぜひ遊びに来て下さい。どうも、ありがとうございました。

## 「部活動紹介」



私たち10期生が高校3年だった91年、リーグが開幕しました。それ以降93年ドーハの悲劇、96年マイアミの奇跡、98年フランスワールドカップ初出場、2000年シドニーオリンピック決勝リーグ出場、そして02年日韓ワールドカップ決勝リーグ進出、日本サッカーはめざましい発展を遂げてきたことは誰もが知ることと思います。

ほとんどのOBの方々が獨協埼玉高校サッカー部を直接見る機会がない中、今回幸運にも現在のサッカー部の様子を垣間見る機会を得た私が、十有年前と現在の比較を試みたいと思います。お若いOBの方にはつまらない話題かもしれませんが、古参OBのわがままと思ひ、しばしお付き合いいただければと思います。

中田英寿と大空翼……私たちの世代がサッカーを始めたきっかけは、多少の例外を除きほとんどの人が「キャプテン翼」だったのでないでしょうか。それに対し現在の高校生達のヒーローは中田であり、俊介であり、小野なのです。この違いは高校生達の技術に歴然と現れています。小学生の頃からしっかりと組織されたチームにおいて指導を受けてきた生徒が多いせいか、翼世代には学年に1人か2人程度しかいなかったようなテクニシャンが、中田世代では学年の過半数を占めています。物心ついたときには既にプロサッカーが

身近にあった子供達が現在高校生になっているのですから当然のことかもしれません。

伝統なき伝統……1年生のトンボ引きやボールの空気抜き入れ、大会前の声だし、試合前の四陣の方法、赤黒黄のドイツカラーのユニフォーム、テニスコート脇の部室、うすのろリフティングと罰ゲーム……。どれも10期生前後には懐かしい響きの言葉で、当時はこれら全てがサッカー部の伝統であると思っていました。しかしながら、これら全てのことには消滅、変化してしまいました。このことに関して別段嘆いているのではなく、むしろ「自由」がその特徴である獨協埼玉においては当然の変化であり、この伝統にとらわれないのが伝統であるのではないのでしょうか。

変わらないもの……この十余年の間変わらないもの、それは安藤先生の指導方針と、生徒達のサッカーに対する気持ちです。安藤先生の口癖「サッカーを通じて社会に出る準備をしろ！」という言葉は毎日のように聞かれます。安藤先生は今でも生徒とぶつかりながらも「サッカーを通じて人間教育」を実践なさっています。練習後の薄暗いグラウンドで、サッカーが好きで好きでたまらない生徒達が自主練をしたり、ふざけあっている姿は何も変わっていません。

(10期生 OB)



## 第6回 教員座談会

今回のテーマは学校祭。25回目を迎えた蛙鳴祭(あめいさい)の苦労話を歴代の委員長にお聞きしました。

司会 今日、歴代の学校祭実行委員長の先生方にお集まりいただきました。まずは、過去25年間の学校祭を振り返って、印象深い出来事やハプニングの話から伺いたいと思います。

岸本 台風で一回、中止になったことがありましたよ。1日はできたんですけど。

小栗 台風がまとともに来ちゃったんだよね。確か、アーケードも倒れちゃった。

岸本 事務の原田さんが本場に一生懸命掃除して下さって。感激しました。

伊藤 日曜日に登校してきたら、模擬店の屋根やらが全部飛ばされてた。

岸本 外にあった食品団体のテントが、そのときは跡形もなく飛んでいっちゃって。それでもみんな、しよげなかつたですよ。

司会 食品団体といえは？

岸本 やっぱり剣屋さんとか籠球飯店とか、昔から続いている老舗かな。あと、家庭科同好会の美味しいクッキー。焼きそばもちゃんも有名ですね。

司会 今はなくなってしまった店はありますか？

岸本 おそばだとか、うどんだとかがあったよ。うな記憶があるんですけど。

小栗 一時期、保健所が厳しくて、本当に大変だったことがあった。

岸本 特に0-157ですね。本当に冷や汗ばっかりというときがありましたね。保健所の方は仕事なんですけど、本当に厳しくて、怒られに行くという感じがありましたね。

司会 やっぱり生徒が楽しくやる陰には、教員の苦労がありますね。どんな行事でもそうだと思います。

古田 食品団体を任せるにはある程度ノウハウを持っていないと、安心できない要素があるんですよ。以前に比べればうるさくないんですが、具合が悪い人を出すわけにはいかないですから、そこはやっぱり厳しく、

岸本先生のときのやり方をそのまま踏襲させてもらっているんです。

岸本 われわれ教員はやっぱり、その辺は気を使いますよ。

司会 食品団体で、こんなのは面白かったなというのがありますか？

伊藤 ラーメン。直接、ラーメン屋の出汁でスープをとって、ラーメンをこさえてね。あれ、美味しかったね。

司会 お店の味が学校の屋台で食べられると、ほかに、そういったプロの味が楽しめたとか、そういうのって、過去にありますか？

伊藤 おせんべい屋さんの実演販売があった。それから、あとは銀座中村屋のあんぱんかな。これも試食販売みたいなような形で来てくれたね。業者さんが来て、この機会だからというので、宣伝を兼ねながら、安く、たくさん提供して下さったという例を見たことがあるかな。

司会 小栗先生、これは美味しかったというのは？

小栗 私、駄目なんです。基本的に模擬店に反対だから。

司会 食べ歩くこともないんですか？

小栗 食べますけど、座って(笑)。

司会 あとは各クラスの企画で、面白かったものは記憶にありますか？

古田 2年前くらいに、井原先生のクラスが後夜祭のステージでソーラン節を踊ったのがありましたよ。

古田 そう、後夜祭のあの舞台に向けて、練習をしてたね。

岸本 松本学年の安藤先生の3年9組の宝塚もすごかった！みんな、喜んでメーキャップして、凝ってたかなと思えますね。宝塚風の化粧で、それがまた見事にでき

てるんです。若いという点もあるんだろ。うけど、あれ、ちよつとなかなか感動したな。すごいなと思えましたね。



▲小栗先生

司会 長く教員をして、自分のクラスでこんなのが良かったとか、あるいは、この際ですか？

岸本 失敬だつたなという話があれば。

小栗 私は偏屈者ですから、テレビは大嫌いだし、テレビの真似は絶対にやらせんぞという方針です。クラス参加のとき条件を付けて、クラス参加である以上は全員が協力し合わないと、やつちやいかんということ。それから、当日もさることながら、それまでの準備の過程というのを重視するべきだということ。部活動と同じにいかなくても、クラスのメンバーが協力し合って、準備するということのほうにもっと重点を置いていんじゃないかと。いう考え方なんです。クラス参加だったら、参加できる者は絶対しろという。私にとつては、うまくいったかうまくいかなかったかという物差しはそれですよ。

司会 岸本先生はクラブでのご活躍のほうが目立つ部分かと思うんですけど、クラスでこんなのが面白かったとか？

岸本 いや、本当に、クラスの子には申し訳ないと思っております。でも、体は一つしかなくてね。クラスの生徒には申し訳ないという思い出しかな。

司会 小栗先生もおっしゃるように、文化部にある積み重ねというのはクラスでは難しいですからね。伊藤先生はどうですか、先生がお

持ちになったクラスで、こういうのをやったとか。

伊藤 今までいろいろクラスを持ったけど、「本当はいけないのに伊藤さんのクラスで物を売ってるよ」と言われたことがあってね。行ってみたら、売ってるんだよね。

司会 何を売ってたんですか？

伊藤 お菓子とか何か、売ってるんだよ。それで、注意したことがあるね。今だったら中止でしょう。でも、そのころは中止にできなかったもんね。注意して、お金を全部受け取って、それを全部会計予算に入れたんです。でも、クラスの発表は、あまり短絡的なものはどうかな。休憩所とかね。

最近だと、お化け屋敷とか。

小栗 だんだん思い出してきた。クラス参加で、熱気球を上げようというので、作ったことがあるんですよ。

司会 すごくいいじゃないですか。

小栗 すごくいいんですよ。出来あがったものは。上がらなかつたんだけど(笑)。

司会 校庭で上げるんですか？

小栗 屋上で作って、上げるときにグラウンドまで行ったんだ。本や何かでいろいろ調べて、私とちゃんと、浮力とかの計算してやったんだけどね。でも、上がらなかつたね。

司会 そういうのに向かっていると、いいですよ。

小栗 生徒がみんな、作ったんです。ビニールの大きな袋をはさみで切って、中身を作っても、上がらなかつた。

司会 でも、やっぱりクラスみんなで一つのことに向かっていると意味では、うまくいったと思えますよ。

伊藤 だから、昔はみんな、作ってましたね。大風を揚げたの覚えてる？

司会 大風？

小栗 大風大会に行って、資料を集めてきて。伊藤 すごくだったね。

小栗 それをグラウンドで。でも、あんまり揚がってないんじゃないかな(笑)。

司会 嵐のときも風作りから入るわけですね。小栗 そうそう。でっかい嵐を。



▲2002 蛙鳴祭 "宝塚"



▲古田先生

司会 何か、うまくいった、でっかいイベントとかというのはありますか？熱気球にしても、大胆にしても、夢があるじゃないですか。本当にクラスみんなで、少しずつやって行く企画ですよ。ここでもうまくいった話があると、うまく締まるのかなと。

司会 それは25周年に取っておこうということですかね(笑)。でも、こういった話はすごく素敵だなと、格好いいと思うんですよ。本当に、文化祭をクラスでやってるなという感じがする。次にクラブ関連で印象に残っているものがありますか？

岸本 吹奏楽。やっぱり、最近中学生と一緒に演奏しているじゃないですか。そうすると、例えば中学生のおじいちゃん、おばあちゃんとか、そういう方々が増えて、ここ数年印象的なことですね。これまでにないお客さまで、何か嬉しいなと思います。

司会 古田先生は演劇部の顧問を長くいらっしやいますか？

古田 演劇部は、かつて一生懸命やってたメンバーが多かった時代と、今のうちに、だいぶ人数も少なくなっただけで、大人しくなりました。その差があるんですよ。たとえ人数が少なくても芝居を作りたいという思いを引き出せるような空間を作ろうと、場所を変えながら上演してるんですよ。教室公演は、お客さんと演技をする生徒との距離をあんまり作りたくないという意識から、やってみたんなんです。今後も場が変わったとしても、自分たちで上演するんだという思いだけは一杯引き出せるようにやってあげたいなと思ってます。今年はどうなるか、まだ分かってないんですけど(笑)。



▲伊藤先生

司会 基本的に、文化部の発表の場というのが、学校祭の位置づけですから、特に25周年で、みんなが期待してると思うんですけど、あとは、後夜祭。ずっと、僕らのところから、ミスター&ミス協賛というのがあって、あれはいつごろ始まった企画なんですか？

岸本 あれは、伝統ですから。最初は多分、女装コンテストみたいなのが。小栗 うん、あったよね。岸本 ただ、変な言い方だけど、ずっと上品にやってきたわけ。ある年、ガタツと下品になっちゃって。それで、みんな駄目になっちゃったんじゃないかな。非常にいい雰囲気であつたのが。

司会 じゃ、女装コンテストがミスター、ミスの前にあつた企画なんですか？女装コンテストというは、僕のころにはもうなかつたんですけど、影も形も…。

伊藤 下品になつてた。それでやめた。岸本 最初は、それこそ、逆宝塚じゃないけどすごく良かった。伊藤 目白校から女装チャンピオンを呼んだりしてたね。司会 向こうは男子校ですからね。小栗先生、覚えてますか？

小栗 はつきり覚えてないんですけど、俗におかまショーとか言つて(笑)。あつたのは覚えてますけど、あまり勉強のほうは頑張りなような連中が張り切つて。司会 僕らのころは各学年にミスターとミスが一人ずついて、終わつてたんです。去年はMr.&Missカラオケというのがいたんですけど、何か変わったミスター、ミスというのはあつたんですか？

古田 ミスター・お笑いとか。生徒の側としてみれば、ミスターとミス、一人だけを選んでくるのはちよつと物足りないのかな。でも、それをあんまりやっちゃうから、ミスター&ミスが陰ってきちゃうのね。もうちよつとそこは整理してもいいのかなとは思いますがね。

司会 あと、バンド演奏というのは、これはいつごろから始まつたんですか？

岸本 あれは、僕の記憶によると、かなり最初からバンド演奏はありましたよ。

伊藤 外でやつた。古田 外で、グラウンドで、トラック・ステージを使つたりして、バンド演奏をやつて、フオークダンスもやつてましたよ。伊藤 あつたね、本当に。古田 一つのお祭りの最後というイベントをきつちり作り上げていつたと思うんだけど。

屋内に入ったことで、趣向も変わってきた。古田 だんだん後夜祭というのがバフオーマンとか、小栗先生はあまり好きでないという、テレビを模したようなのをやってましたよね。完璧に真似したもので、うまいなと思つたのは、ドリフターズのコントをちゃんと転換まで入れてやつたというのには確かにうまかつたなというのが、私、記憶がありますけどね。

司会 あの音楽を掛けて？

古田 音楽をちゃんと使つて。リード転換をやつて。

司会 ステージ上で行うんですか？

古田 ステージ上で。最後にスクールメイツを模した、みんな白のスコートをはいた女の子たちが出てきて、ボンボンをやつて、それで終わるといふ。まさに「8時だよ！全員集合」を、あれ、クラスだったかな、クラブだったかな。えらい大所帯でやつたな。

司会 そうしたら、男の子も女の子もいっぱいいたということですか、スクールメイツが作れるぐらい。

古田 そうそう、本当に女の子たちがスクールメイツの格好をして、出てきましたよね。あれはうまかつたなと思つて。

司会 25周年の学校祭に期待することというよなテーマでお話しいただければ。

岸本 私は、学校祭委員の子は元気な子が多かつたし、ぶつかつたという記憶しかないんですよ。だから、その人たちにぜひとも来ていただきたい。25周年という区切りですから、こういう人たちにこそ今年はずいぶん大勢来てもらつて、現在の学校祭を見てもらいたいなというのが希望ですね。

司会 そうですね。ぶつかつたというのは、生徒にそれだけやる気があつたと。

岸本 こつちもやっぱり若かつたし。

小栗 岸本先生は9月になると、顔つきが違つた。狂つてたもの。

岸本 確かに狂つてたかもしれない。小栗 生徒はよく泣かされた(笑)。岸本 そうだな、実は昇降口の下駄箱のところまで生徒を30分ぐらい泣かせてたことがあつて、校長先生が心配しちゃうね。そういう子にも来てもらいたいな。司会 そうですね。25周年、それだけの生徒を

送り出したということですからね。一人でも多く、卒業生に来てほしいですね。あとは、学校祭全体に望むことですが…。

伊藤 25年、よくやってきたなという(笑)。

司会 率直な感想ですね。

伊藤 これも一つの過程だよな。これから30年、40年というふうになつていくわけだから。その一つの過程なんだから。

司会 現在の委員長として、25周年を迎えて今年に向けての意気込みを。

古田 中学生で、学校祭委員をやつた生徒が4月で高1になったんですよ。だから、中高の流れの中で委員会活動がだんだんと、充実が図れるのかなと思つてるんですよ。新規に入ってきた高校1年生よりは、様子が分かつてますから。それがやっぱりいい方向で、質を高めていくようなものになればいいかなというふうに、期待しています。

岸本 今、言われた内進生ですけど、あれはすれてるとか、なれなれしいとかいう言い方をする人がいるけど、逆にプラスの面もあると思うんですよ。

古田 今年も25周年だからというので、本部で25周年企画というのをやるかという話にはなってるんですよ。何かしら、自分たちなりの一区切りを付けようかというようなことで、話が出ています。取り立てて大きな、特に費用をかけて、どうこうというような、そういうコンセプトはないんですけど、その辺りを上手に運営のほうにも生かせればというふうにも思つてるところです。

司会 分かりました、ありがとうございます。というわけで、歴代の委員長をお迎えして、お話を伺いました。本当に、今日はありがとうございました。



▲岸本先生

- 参加者
- 伊藤 栄一先生 / 小栗 友彦先生  
岸本 治夫先生 / 古田 辰也先生  
●司会  
竹内 友洋先生 (13期生)

## 第25回 蛙鳴祭 9月18日(土)・19日(日)

今年のテーマは **ニコ・25・Smile** 

今年は25周年です。みんなが笑顔(ニコニコ)で初めから終わりまで参加できるように願いを込めたテーマです。

### 40歳になったら学校へ行こう! -1期生ホームカミングデー-のお知らせ-

1期生のみなさんお元気ですか?

卒業してから22年、そして高校創立25周年の今年、なんと、私たちは40歳になってしまうんですね。最近良く顔を合わせる1期生の中の「そろそろ皆に会いたいね」と言う一言がきっかけで、それが今、大きくうねりを上げ動き出しました!

1期生全員参加型の同窓会を企画しています。久しぶりに旧交を温めましょう!

**日時:9月18日(土)15時 高校集合! (場所:中学棟小ホール)**

- ◆石井先生(現校長)より1期生へ熱いメッセージ。 ◆当時の先生方も多数参加予定。
- ◆17時に下校し、場所を変えて懇親会を開きます。

\*万障お繰り合わせの上、ご参加ください!! 懇親会からの参加も大歓迎です! \*卒業時のクラスの代表者から後日個別に連絡があります。  
\*メールによるご返答、近況報告も受け付けます。その場合、フルネームをお書きください。(できましたら3年時のクラスも) \*懇親会についてはある程度の参加人数がわからないと予約できませんので、8月中のご返答にご協力をお願いします。(場所、会費等は後日再連絡致します。)

尚、このホームカミングデー事業は獨協埼玉高校及び同窓会の承認を得ており、2期生以降の継続事業に育てて行きたいと考えております。皆様のご協力ご参加を心よりお願い致します。来年は2期生の出番です!

1期生ホームカミングデー実行委員長 杉崎 良樹(卒業時3組) 連絡先:hotobi64@yahoo.co.jp

**入 試説明会も開催中** 場所: 中学棟小ホール

中学	9月18日(土)	10:00~11:00
		13:00~14:00
高校	9月19日(日)	10:00~11:00
		13:00~14:00

**もちろん、同窓会も参加します!**

獨協埼玉の25年の歴史や、先生方の若かりし頃(!?)や現在が分かる“今昔物語”などを展示中!!  
同窓生の皆様もご家族づれでお越し下さい。

#### 同窓会役員人事紹介

(括弧内数字は卒業期)

#### 理 事

会 長	玉山 栄一 (1)
副 会 長	永島 健次 (3)
会 計	森脇 淳 (5)
	櫻井 広仁 (13)
	竹内 友洋 (13)
会 計 監 査	友野 行晴 (1)
	酒井 直樹 (7)

#### 事 務 局

事務局 長	小平 茂 (5)
事務局 総務	高田 晶子 (10)
幹事会 進行	井上 友子 (8)
幹事会 記録	伊勢 陽子 (10)
H P 委員	石田 大介 (15)
	仲田 英起 (17)
	関 淳一郎 (18)
	坂本 育美 (18)
	山口 麻里 (20)

#### 幹 事

片桐 岳信 (1)	田ノ下 紀子 (15)
杉崎 良樹 (1)	永井 穂 (16)
水谷 功 (3)	深瀬 和之 (16)
吉本 博之 (3)	植原 浩美 (18)
武田 信一 (3)	矢作 敏那 (19)
森島 優紀 (3)	佐々木 樹太 (20)
奥泉 裕子 (4)	大山 みどり (20)
橋本 行正 (4)	五十嵐 玄 (21)
大岩 幸代 (5)	池田 ユリカ (21)
瀬戸 てるみ (8)	深津 有希 (21)
水口 将重 (8)	丸川 玲子 (21)
川島 信也 (9)	吉野 純子 (21)
金久保 佳代 (12)	加藤 友紀 (22)
黒澤 沙都子 (15)	高崎 菜月 (22)
田中 弓子 (15)	村上 まどか (22)

#### 同窓会名簿の更新について

同窓会名簿の更新につきましては、現在、幹事会において検討中ではありますが、個人情報保護の観点から、具体的な更新日時を決定しておりません。あらかじめご了承ください。

#### 同窓会からのお願い

- ①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願いたします。
- ②同窓生で同窓会からの郵便物が届かない方がいらっしゃいましたら FAX・メール等で事務局まで情報をお寄せ下さい。後で同窓会会報等を郵送いたします。ご協力よろしくお願いたします。
- ③住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。

※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

#### 会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い正式に卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(一万円)を納入していただきたく、納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願いたします。

※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されておりません。